



学生有志主催 展覧会

社会に応答するウィーン

- 留学を通じた都市、建築への批評 -

[オープニングトーク] 12/8(月)18:00~
[田町キャンパス展] 12/8(月)~12/12(金)10:00~20:00
[大岡山キャンパス展] 12/25(木)~12/30(火)10:00~18:00

東京科学大学田町キャンパス CIC5F 製図室
東京科学大学田町キャンパス CIC5F 製図室
東京科学大学大岡山キャンパス西5号館 4F
プレゼンスペース

渡邊修(東工大 M4)、大澤菜緒(東工大 M3)

主催: 山田來実(東工大卒)、北井宏佳(東京理科大 M3)

後援: JAACA(日墾建築文化協会)



学生有志主催 展覧会

社会に応答するウィーン

- 留学を通じた都市、建築への批評 -

本展は、昨年度ウィーンに一年間留学をしていた日本人学生4人が経験に基づき、ウィーンを都市、建築の観点から捉え、批評する有志企画の展覧会である。

東京で建築教育を受けてきた私たちにとって、ウィーンはとても魅力的な建築都市に映る。様式に忠実な建築群やRingstrasseなどの都市の履歴が鮮明に街中に残り、芸術、文化に対して批評的な態度が通時的に見られるウィーンにおいて、建築もオットー・ワグナーやアドルフ・ロースといった様々な建築家や都市計画家が絶えず歴史を超克し、新たな建築を生み出してきたように感じる。さらには政治的背景から公営住宅なども多く見られ、ヨーロッパの中でも特殊な住宅事情を抱えており、現在でも公営住宅の建設と議論が活発に進められている。そこで、そのような独自性溢れるウィーンにおいて、現在活躍する建築家たちは何をテーマに設計に取り組み、これまでのウィーンの歴史にどのような態度をとっているのかが気になり、2024年9月から現代ウィーン建築家7組にインタビューを現地にて渡邊、大澤で実施した。

今回はそのインタビュー録に加え、企画者4人で議論し作成した、ウィーンに関する年表、建築・公営住宅・都市の自然についてのパネルも展示する。ウィーンの歴史、現状をただ伝えるだけでなく、留学の集大成として留学先の都市、建築を批評することも目的としている。

企画者

渡邊 修 Osamu Watanabe

東京科学大学修士4年、TU Wien 留学 (2024.01-2025.02)

大澤 菜緒 Nao Osawa

東京科学大学修士3年、TU Wien 留学 (2024.02-2025.03)

山田 来実 Kurumi Yamada

東京科学大学卒、TU Wien 留学 (2023.09-2024.08)

北井 宏佳 Hiroka Kitai

東京理科大学修士3年、TU Wien 留学 (2023.09-2024.07)

後援

JAACA (日澳建築文化協会)

連絡先

渡邊 修 watanabe.o.ac@m.titech.ac.jp

開催期間・会場

[オープニングトーク]

日時 - 12月8日(月) 18:00~

会場 - 東京科学大学田町キャンパス CIC5F 製図室

[田町キャンパス展]

会期 - 12月8日(月)~12月12日(金) 10:00~20:00

会場 - 東京科学大学田町キャンパス CIC5F 製図室

[大岡山キャンパス展]

会期 - 12月25日(木)~12月30日(火) 10:00~18:00

会場 - 東京科学大学大岡山キャンパス西5号館 4F プレゼンスペース



JR 田町駅より徒歩2分、都営線三田駅より徒歩5分



東急大岡山駅より徒歩5分